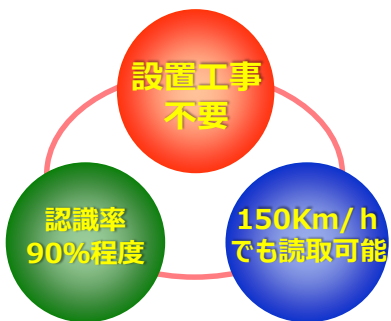


ナンプレキャッチャーとは

車両のナンバープレートカメラで撮影して、ナンバープレートのすべての情報を自動認識し、データ化するシステムです。類似商品と比較して、以下の点で優れています。



設置工事費用ゼロ

非常に軽量でコンパクト。
カメラは市販の三脚や車両のガラスにも取り付けが可能。
大掛かりな設置工事は不要で、準備も短時間で済みます。

認識率90%程度

これまでの機器では70～80%だった認識率が飛躍的に向上。
赤外線照射により夜間でも高い認識率を実現。

150Km/hでも読取可能

静止状態でももちろん、走行中も対向車線の車両のナンバープレートも読取が可能。

機器概要、設置条件、設置イメージ



現地データ取得

ナンバープレートのサイズ	中版:「M」、大版:「L」
ナンバープレートの色	白・黄:「W」、緑・黒:「G」
陸運支局コード(登録地)	「福岡」など
分類番号	「55」300など
用途コード	「あ」きなど
一連番号	「...1」1234など

ナンバープレート情報読取



データ化

機器概要

- ノートPC内でナンバープレートの認識、データの保存、各機器の制御を行う装置です。
- 認識用カメラでナンバープレートの認識用画像を撮影します。
- 照明発光部(照明)により、暗所での認識を可能にしています。
- PC電源は大容量バッテリーやカーバッテリー等を加工し対応。

設置条件

- 1～2m四方程度の平面が確保できること。
- 逆光が当たらないこと(逆光時はピント調整などが必要)
- 人の立ち入れる場所であること(定期的に状況確認を行います)。

ナンプレキャッチャーを使用した調査例

車両の起終点を把握したい	・通過(撮影)時刻 ・ナンバープレートの全情報が取得が可能	ナンバープレート(OD)調査
時間帯別・車種別の交通量を把握したい	・通過時刻 ・分類番号の取得が可能	断面交通量調査
観光地などで、車籍地別の台数を把握したい	・陸運支局コード(車籍地)の取得が可能	車籍地調査
特定車両の台数を把握したい	・用途コードの取得が可能	特定車両台数調査
路上、路外の駐車状況を把握したい	・撮影時刻 ・ナンバープレートの全情報の取得が可能(カメラを車内に設置し巡回して撮影)	駐車状況調査

現行調査との比較

	調査員観測	AVI等の既存の機械観測	ナンプレキャッチャー
現地作業員数	2名	1名(定期巡回)	1名(定期巡回)
使用機器	ICレコーダー	構造物に常設	安全な路上に仮設
調査項目数	ナンバー情報の一部	ナンバー情報の全て	ナンバー情報の全て
データ精度	○	◎	◎
入力	音声起こし+人手入力	不要	不要
道路占有協議	○	△	△
雨天時調査	△	○	×
設置工事	なし	必要	仮設の為、必要なし
費用	-	高コスト	低コスト
調査～納品の期間	1か月	1～2週間	1～2週間

費用の考え方

～上下線1車線の道路を3断面で調査実施した場合～

	調査員観測	ナンプレキャッチャー
現地作業員数	18名	6名
使用機器	ICレコーダー6台	6台
調査項目数	ナンバー情報の一部	ナンバー情報の全て
データ精度	○	◎
入力	音声起こし+人手入力	不要
道路占有協議	○	△
雨天時調査	△	×
設置工事	なし	仮設の為、必要なし

その他事項

バッテリーに関して

- 連続12h調査、24h調査でも対応可能。

在庫に関して

- 約30台 ⇒ 上り1車線、下り1車線の2車線道路の場合は15断面調査可能

その他

- 日中は光の条件(逆光等)により多少認識率が下がる場合があります。
- 片側2車線の道路の場合は中央車線側に設置が可能ですが、機器を設置できるスペースがない場合は中央寄りの車線の計測は不可。

雨天時の使用

